



菅野大志の「いどばた会議」

vol. 2

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

初登庁から約2か月半が経過しました。行事の多さから健康を気遣う声もありますが、元気でやっております。むしろ、皆さまの声を直接お聞きに伺えずに申し訳なく思います。暑くなってまいりましたので、お互い健康に気をつけて頑張っていきましょう！

1 今月のトピック！

6月に成立した補正予算は、私の特徴や方針を反映した予算となりました。詳しくは4ページをご覧ください。

○予算規模…3億円弱ですが、主に国の補助を活用し、町負担は4000万円弱となる見込み。

○「町職員」のすっだいこと・必要な事業など、自発的な提案事業を多く盛り込みました。

○私の公約実現…給食費の無料化、高校生をもつ世帯への負担補助、デジタル観光の推進

2 今月の役場！

いよいよ、今後8年にわたる第7次総合計画策定に向けて動き出しました。6月26日に開催した総合政策審議会では、

目標の多くが未達成であったために、職員（課長）には、「未達成である原因は何か、目標値が適切だったのかをはっきり伝えないと対策を立てようがないので、しっかり説明してほしい」と依頼。各課長が主旨通りに発言いただき、次の計画につながる議論ができました。

3 今月、思ったこと

★「まちづくり町民会議」メンバーも公募中です！計画に関与いただける方、ぜひ！
<https://www.town.nishikawayamagata.jp/bo-syu/2022-0628-1643-13.html>



① 情報発信へのご協力

町内外の皆さまに町の情報を伝えるためには、世代ごとに伝わりやすい方法で伝えなくてはいけない。できるだけ、スマートフォンをお持ちの方は、LINEなどでお知らせしたいと思います。現在、一方通行の町公式LINEなどのSNS、双方の菅野のLINEがあります。これらのLINEの価値を皆さまに見出していたくために、町（各課）が積極的に情報を発信することにしました。

② 要望に関するルールづくり

おかげさまで各地区から様々な要望をいただいております。こういった要望に対しては、担当課より現状・これまでの経緯、必要な金額をお聞きしたうえで、建前なしに本音（実現の可能性）を区に対して伝えております。私は、しっかり理解し、要望どおりできないかの議論から始め、真剣に対応しています。

このため、お願いしたいのは、要望いただく時の覚悟です。区の要望に対して、町が要望対応した結果、同じ区から「なんでこんな対応するのだ」とならないようにしてほしいです。

ある区の要望は、区内での正式な意思決定を経ていないため、これに対応した場合に町が批判されるリスクのある要望でした。要望に対しては、誠心誠意対応いたしますので、公開してもよい要望をお願いしたいところです。



▲西川町公式LINE



▲菅野大志のオープンチャット

次ページに続きます

「われら、西川ファン！～関係人口の方々～」

「稼ぐまちとなるため、西川応援団」また「観光客以上に西川を好きだけど、移住まで難しい」方々を「関係人口」といいます！この「関係人口」構築とその活用がこれからの西川活性化のカギを握ります。

若宮健嗣さん(デジタル田園都市国家構想担当大臣)

地方初となる、西川町の歴史・文化を活かしたデジタル観光の経済効果をご説明しました。今回は、現地視察でお越しいただきました。

吉田皓一さん(台湾の訪日メディア「樂吃購！日本」社長)

台湾で指折りの有名な日本人！吉田さんから、来客数が何人かより、地元でいくら消費されるかが大事だという話、そして関係人口を増やす取り組みをお話いただきました。「よんなな会」(公務員有志の会：脇雅昭主宰)から西川町を紹介いただきましたが、台湾師範大学との連携に加え、日常的な台湾からの誘客について助言いただきます。

花輪明香さん(睦合地区出身で都内飲食店経営)

東京で飲食店経営の花輪さんが、お客様10名を引き連れ、西川町に観光にお越しいただきました。このような取り組みを町がサポートして積み重ね、人と人がつながることが、稼ぐまちへの基礎となると信じています。

鈴木健太さん(鹿児島県鹿屋市副市長(農林水産省より出向))

西川町長と町民との対話方法を視察にお越しいただきました。リアルな意見交換のうちに、農林水産省の補助政策を教えてくださいました。

福寿館(本館：奈良県)

西田社長と懇談し「西川牛(仮)」の呼称を長期使用に！これまでは、2週間(モウモウまつり期間)でしたが、長く使用できるようになりました。また、福寿館の店舗でわが町の広報を行うなど、更なる企画を今後検討していきます。

近藤威志さん(西川町地域力創造アドバイザー)

地域力創造アドバイザーとして活動されている近藤さんの実行力は国からも認められています。今後、月1回程度来町していただきます。まずは、西間沢地区の空き家数軒をお試し移住できる住宅に改修を進める予定です。



③西川町総合開発(株)を地域商社に
「安心安全なまち」となるための財源確保には、「稼ぐまち」となることが必要です。そのために関係人口を構築していかなくてはならないと考え、民間事業者と町が一体となって進めていきたいと思っています。
交流人口の拡大
↓関係人口の構築
↓移住人口の拡大
総合開発(株)は、民間からの増資を検討いただいております。今後、定款変更・事業拡大などにより「稼ぐまちづくり」の旗振り役として再スタートを考えています。今後も、カタログ販売など様々な取り組みを実施していきます。

④その他、今後の西川の目指すべき取り組みや町民の皆さまにお知らせしたいこと！
■人口1300名の宮城県七ヶ宿町(小関町長)では、国の提案型補助事業を活用し複合施設を建設しました。これは、わが町のサテライトオフィス建設に向けたモデルとして、町職員と月山朝日観光協会などを共有しました。
■仙台市観光関係部の皆さま・西川町への県外観光客は、宮城県からの観光客がダントツ1位です！仙台市での産品販売を

西川町総合開発(株)とお願いしました。
■東北運輸局田中局長に、月山朝日観光協会と伺い、競争率の高い、国の提案型補助事業申請に向けて助言いただきました。日本一の雪国宣言を活かした観光商品づくり、志津温泉の景観改善について意見交換しました。
■人口8300名の川崎町(地域振興課滝口課長)では、地域おこし協力隊10名(当町2名)が躍動する町を視察。わが町にないお話し移住の重要性と、今後募集する地域おこし協力隊(10名以上)の進め方を学びました。
■弓張平公園を稼げる公園にしたいと、町HPで県への指定管理を目指す事業者を公募した結果、西川町総合開発(株)と「変若水の湯つたや」が応募。町としても同公園の指定管理受託に向けてサポートします。
■日本蘚苔類学会が弓張平公園の苔の道を視察。わが町は苔の住みやすい環境であることが分かり、今後、学会誘致を全力でサポートすると熱意を伝えました！



Photo gallery

最近のかんの

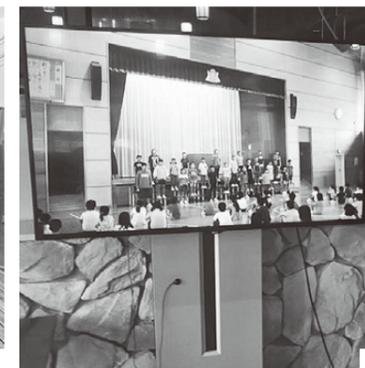


写真 1：(公園ミーティングの様子) 公園整備に向けた対話を踏まえて、事業企画してまいります。／ 2：宮城県川崎町には、移住を推進しているモデル地として視察しました。／ 3：地域商社化を目指す総合開発(銘水館)では、西川小学生による水源宣言の唱和動画やキャンプ動画などを放映開始しました。